

自主的環境保全活動の取り組み状況

(事業所名) 株式会社 神戸製鉄所 高砂製作所

1 環境保全活動に関する方針等

1 - 1 環境保全活動に関する方針

われわれは、地球環境保全が人類共通の基本的責務であり、企業として果たすべき重要な社会的責務のひとつとして認識する必要がある。次代に健全な環境を引き継ぐためには、提供する製品・技術・サービスを含めた企業活動のあらゆる切り口で、環境に与える影響・効果を十分に認識し、環境への負荷の軽減を図ることにより、社会からの信頼と共感を得なければならない。

「環境との共生・調和」を図り、真の環境先進企業を目指していくために、下記を活動の指針とする。

環境関連法規制等の要求事項を順守する。

環境汚染の予防に努める。

省エネルギーやリサイクルを推進し、資源の有効活用を図る。

環境目的及びも公卿を設定し、継続的な改善を推進すると共に、定期的な見直しを行う。

教育・訓練を実施し、環境に対する意識と資質の向上に努める。

社会との共生・協調に努める。

製品・技術・サービスを通じ、地球環境保全に貢献する。

以上は、環境社会報告書ならびに弊社HPにて公開する。

1 - 2 環境保全活動に関する組織体制

全社 環境経営委員会 / 環境管理委員会
事務局 = 本社) 環境防災部

高砂 環境管理責任者 = 副所長
高砂製作所 環境管理委員会
事務局 = 環境防災室 (兼 ISO 14001 推進事務局)
(連絡先: 079 - 445 - 7114)

2 環境保全活動の実施状況等

項目	取組結果	今後の取組計画
化学物質対策	・清缶剤としてのヒドラジンを他物質（非P R T R対象物質）に一部置き換えることにより、全廃に至った。	・非P R T R物質安定利用技術の定着
	・P C B廃棄物の適正処理（一部をJ E S C Oによる処理を実施）を実施すると共に、適正保管の継続している。	・今後も引き続き適正保管を計ると共に、計画的な適正処理を実施
エネルギー対策	・二酸化炭素排出量は、約20%低減した	・今後も、省エネルギー機器への代替、原単位向上活動を継続していく。
	・ブラックイルミネーションに参画した。（6月下旬～7月上旬の約半月間）	・今後も引き続き参画する。
廃棄物対策	・非埋立処分率は、昨年並みのレベルを確保した。	・今後も、埋立処分廃棄物の利材化、減量化を進めていく。（スラグ・鋳物砂・ダストが主軸）
	・周辺地域のクリーンアップ活動を継続実施。（会社・協力会社・労働組合）	・今後も継続して実施していく。
環境マネジメントシステム	・本来業務の環境側面化を進め、業務上のムリ、ムダ、ロスを排除する活動を継続して実施。	・内部監査等を通じ、さらなる改善を図る。
環境教育	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新入社員教育 ・ 環境一般教育 ・ 基幹社員教育 	・内容をリフレッシュしながら、継続していく。